

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ギフトド川内		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2026年 1月 26日		～ 2026年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的な知識や経験のあるスタッフの配置があり、個々の発達段階や特性に応じたオーダーメイド支援を行っている点	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントや日々の観察をもとに個別支援計画を作成 ・一人ひとりの得意なこと、好きなこと、強みを大切に支援 ・短時間利用(30分～2時間)を活かした集中型支援 ・学習・感覚・社会性のバランスを考えたプログラム構成 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援記録の分析による支援内容の質向上 ・保護者との共有をより充実させる ・個別支援計画の評価・見直しの質向上
2	「個別課題・感覚あそび・共感あそび」の3つの柱による支援	<ul style="list-style-type: none"> ・感覚統合の視点を取り入れた遊び ・小集団活動による社会性支援 ・机上学習だけでなく、体験を通した学びを重視 ・コミュニケーションや対人関係の力を遊びの中で育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容のバリエーション拡充 ・職員の療育スキル向上研修 ・個別活動と小集団活動のバランスの最適化
3	「短所に目がいかなくなるぐらい長所を伸ばしたい」という理念に基づく支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自己肯定感を高める関わり ・小さな成功体験を何度も積み重ねる支援 ・できたことを積極的に言語化し保護者と共有 ・子どもの主体性を尊重した関わり 	<ul style="list-style-type: none"> ・成功体験を増やす支援プログラムの工夫 ・自己肯定感の育成を目的とした活動の強化 ・保護者へのフィードバックの質向上

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童数の増加に伴う支援体制の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対応を重視しているため職員配置が重要 ・支援の質を維持するための人材確保の必要性 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修の充実 ・支援マニュアルの整備 ・チーム支援体制の強化 ・地域の他事業所さんとの役割分担
2	保護者との情報共有のさらなる充実	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた利用時間の中での説明時間不足 ・利用時間が短時間のため活動内容の共有が難しい場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・LINE等を活用した情報共有 ・送迎時の丁寧なフィードバック ・定期的な面談機会の確保
3	地域との連携や関係機関との情報共有の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や園との連携機会の不足 ・情報共有の方法が個別対応になりやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・園との連携強化 ・相談支援専門員との情報共有 ・地域の支援機関とのネットワークづくり